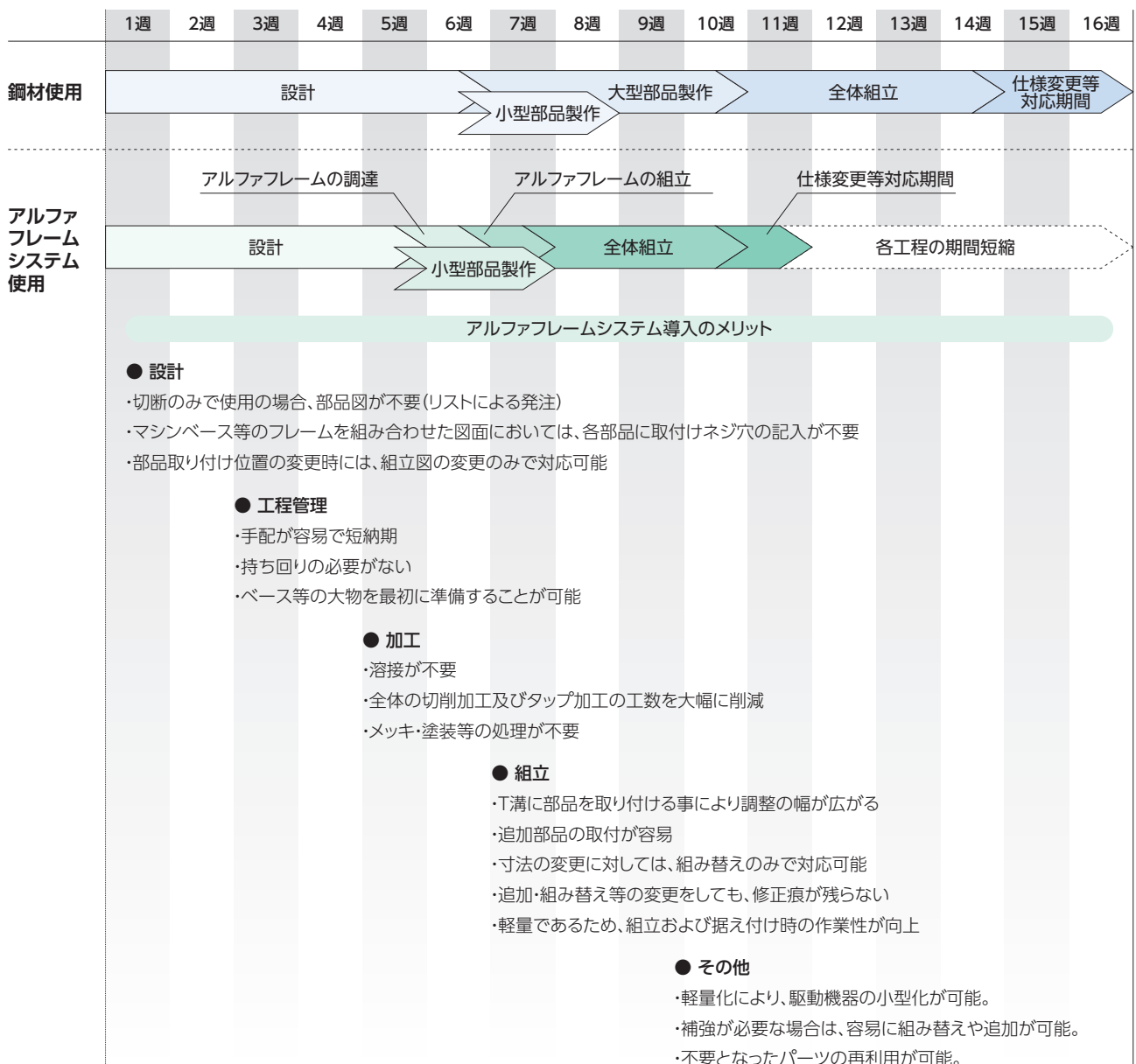
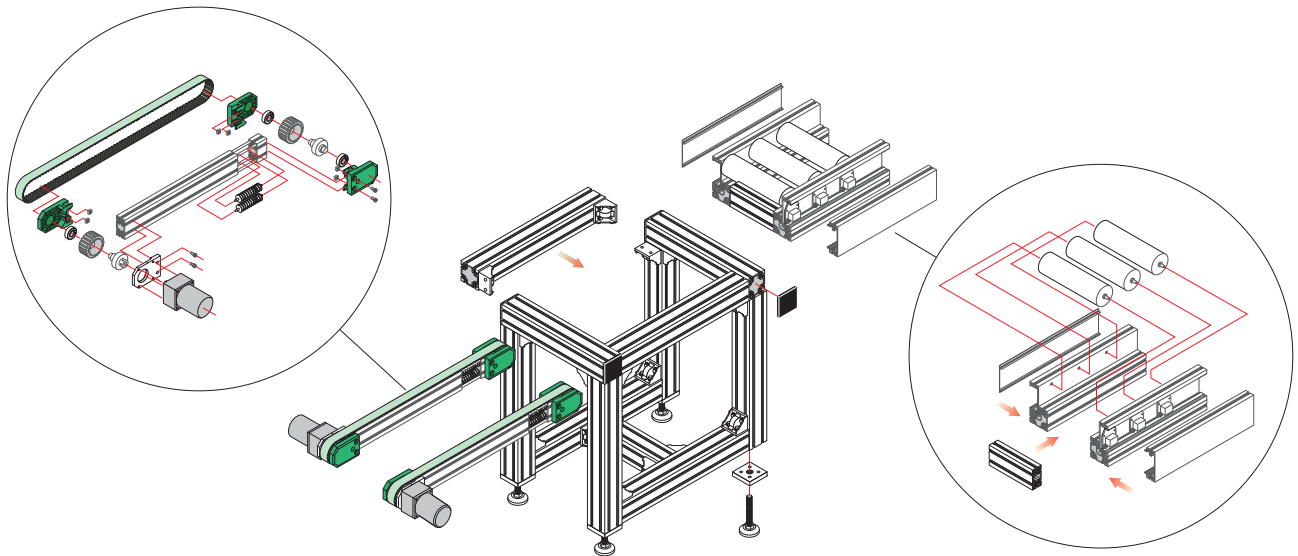


アルファフレームシステム導入のメリット

生産設備開発における設計・加工・組立期間の短縮や仕様変更時における対応が簡単かつ柔軟に行えます。



フレーム選定の目安

● フレーム種類選定のための基本条件

- 積載される荷重
- 許容される変位量
- まとまった質量が大きな加速度で動く場合は、その条件

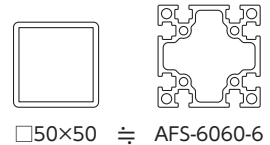
● 場合によっては搬送時の荷姿や耐震性なども考慮する必要があります。アルファフレームの選定方法は、テクニカルデータを参照ください。

● 曲げ剛性比較《鋼材を目安とした場合》

アルミニウムの縦弾性係数は鋼材の約1/3ですから、断面二次モーメントが3倍の部材が同等の剛性となります。

スチール□50mm(t2.3)角パイプとAFS-6060-6は同程度の剛性になります。

※詳しくは、テクニカルデータを参照ください。



● 使用例

小型カバー、小型ラック、センサーブラケットなど	M4 シリーズ M5 シリーズ	
中型マシンカバー	M6 シリーズ・30角	
大型マシンカバー	M8 シリーズ・40角	スタンダード級 ※負荷の小さな物や扉部などはライト級で製作可能
超大型マシンカバー	M6 シリーズ・60角 M8 シリーズ・80角	
クリーンブース	M6 シリーズ・60角	スタンダード級
安全柵・パーティション	M6 シリーズ・30角	ライト級
装置架台(小型) 幅500mm程度まで	M6 シリーズ・30角/3060	ヘビー級
装置架台(小型) 幅800mm程度まで	M8 シリーズ・40角	
装置架台(中型)	M6 シリーズ・60角	
装置架台(大型)	M6 シリーズ・60角 M8 シリーズ・80角	ヘビー級 ※大型あるいは大きな荷重のかかる架台の場合、 中間梁を入れてラーメン構造とすることで M6シリーズ・60角で製作可能です。
装置架台(超大型)	H10 シリーズ	

※複合的な荷重がかかる物の場合は、ねじれ剛性の確保も考慮し、1面に2列以上の溝を持つ正方形断面の部材を推奨します。